

図書館員のひみつの本棚 第155回

今月は新年度にぴったりの物語です。

『こんにちはといってごらん』

マージョリー・W・シャーマット／作 リリアン・ホーバン／絵
さがの やよい／訳 童話館出版 2012年 1296円

<お勧め年齢>

乳幼児☆ 低学年☆☆☆ 中学年☆ 高学年-- 中学生--
高校-- 一般--

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

ねずみの女の子バネッサには友達がいません。学校で先生に聞かれた答えがわかっていても手を挙げることができません。本当は友達がほしいし、手を挙げて発表したいと思っているのに。

バネッサから友達がほしいという話を聞いたお母さんは「ひとりぼっちでいる子に“こんにちは”といつてみるのよ」と教えてくれます。

次の日、バネッサは勇気を出して、ひとりぼっちでいる子に声をかけてみるのですが…。

<子どもに手渡す時のポイント>

内気な子どもの気持ちに寄り添ってくれる物語です。ユーモアのある展開と心温まる終わり方は、新しい環境に戸惑う子どもたちを勇気づけてくれることでしょう。

バネッサの様な子どもを見かけたら、ぜひ手渡してあげてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

